

# 武雄のがばい景観

「未来の子どもたちへ景観を守り、育てそして創るために」



担当 中島

## 「武雄市景観計画」

武雄市は、緑豊かな自然環境に恵まれた生活都市として、また、古くから歴史に培われた落ち着いた風情のある観光都市として発展してきました。

近年は、心の豊かさや精神的なゆとりが、一層重視されるようになり、魅力的な景観づくりが、求められるようになってきました。

武雄市では、その実現に向けて、市民・事業者と行政の協働による景観まちづくり活動の指針となる『景観計画』を策定します。

## 「武雄のがばい景観を考える会」

景観計画の策定にあたり、幅広いご意見を取り入れるため、「武雄のがばい景観を考える会」を設立しました。

第1回の会議が、平成18年12月8日に開催され、会長に三島伸雄氏、副会長に井上一夫氏が、選任されました。

今後、良好な景観形成に向けた目標や方針、行為の制限に関する事項など景観計画に盛り込む内容について、協

議が行われます。（詳細は、武雄市ホームページに掲載します。）

## 景観とは？

景観とは、山、川、天候、季節などの自然的要素、道路、公園、建築物などの人工的要素により構成される眺めや対象（風景）のことですが、景観は目に見えるものだけでなく、音や光、香りなど感じるものも含み、地域の歴史や文化、人々の営みなどの重なり合いを感じ取ることが出来る眺めであるといえます。



# 高架側道の供用が開始されます

現在事業が行われている鉄道高架事業及び区画整理事業による高架側道について、10月より一部供用が開始されました。また、平成19年4月までに道路規制等の整備を行い供用の開始を予定している路線があります。交差点及びその周辺の交通安全のために、一方通行等の規制を行う路線がありますので、通行の際には十分注意をお願いします。なお、整備が全て完了した後に、交通規制等につきましては再度変更を行います。



担当 古賀

